

盛岡劇場開館三〇周年記念―特別企画―

十代目

松本幸四郎 芸談

『高麗屋の芸』

旧盛岡劇場から縁のある「高麗屋」

十代目松本幸四郎さんを迎え

芸談をたっぷりと語っていただくほか

平成30年7月大阪松竹座での襲名披露公演を収録した

シネマ歌舞伎「女殺油地獄」を大スクリーンで鑑賞して

盛岡劇場開館30周年を祝う特別企画です。

シネマ歌舞伎

『女殺油地獄』上映と解説

令和2年 4月5日[日] 開演 午後1時(30分前開場)

会場 盛岡劇場メインホール(盛岡市松尾町3-1)

入場料 全席指定 6,000円 発売 令和2年2月22日[土] 午前10時から

※未就学児は入場できません

チケット取扱 盛岡劇場/盛岡市民文化ホール/キャラホール/姫神ホール

主催 盛岡市/盛岡市文化振興事業団 共催 岩手日報社 協力 松竹株式会社

問い合わせ 盛岡劇場 ☎019-622-2258



葛西 聖司 さん
(総司会・聞き手)

盛岡劇場と

高麗屋

松本幸四郎家

盛岡劇場・河南公民館は平成2(1990)年7月1日開館。こけら落とし公演に九代目松本幸四郎(現…二代目松本白鸚)…七代目市川染五郎(現…十代目松本幸四郎)親子が出演し、大正2(1913)年9月の旧盛岡劇場こけら落とし公演の七代目松本幸四郎一座の公演から76年ぶりと大きな話題になりました。

また平成22(2010)年7月には、開館20周年記念・松竹大歌舞伎盛岡劇場公演で九代目松本幸四郎が「勸進帳」ほかに出演しました。

今回の開館30周年記念特別企画では、平成30年7月大阪松竹座での襲名披露公演を収録し、幸四郎さん自らも編集に参加したシネマ歌舞伎「女殺油地獄」の鑑賞と、葛西聖司さんとのトークにより、高麗屋の芸についてより深く知る機会とします。

当日は記念の「鏡開き」や旧盛岡劇場時代から縁のある「盛岡芸妓」の芸の披露、ロビーでの関連展示、地域商店の出店等も予定しております。

(全体終演予定 午後4時30分)

シネマ歌舞伎

『女殺油地獄』とは

シネマ歌舞伎は、歌舞伎の舞台公演をHD高性能カメラで撮影しスクリーンで上映するという、松竹が開発した、映画とは全く異なる新しい映像作品です。「美」と「臨場感」に徹底的にこだわり、劇場で生の歌舞伎を観ているかのような感覚を体験できます。

『女殺油地獄』は、実在の事件を基にした若者の孤独と狂気物語。近松門左衛門が描く、現代にも通じる若者の心理や親の情、殺しの場面などみどころの多い世話物の名作です。悲劇を引き起こす刹那的な青年の河内屋与兵衛を十代目松本幸四郎が演じます。



松本幸四郎

1973年東京都生まれ。屋号は高麗屋。二代目松本白鸚の長男。79年歌舞伎座「狭客春雨傘」で三代目松本金太郎を名乗り初舞台。81年七代目市川染五郎を襲名。2018年1・2月歌舞伎座「勸進帳」の武蔵坊弁慶ほかで十代目松本幸四郎を襲名。端正な容貌を生かした本領の二枚目から、「熊谷陣屋」の熊谷直実のような骨太の武将、「廓文章 吉田屋」の藤屋伊左衛門などの上方和事、そして三谷かぶき「月光露針路日本 風雲児たち」まで芸域は幅広い。令和の時代の歌舞伎界を背負って立つひとり。

葛西聖司 (古典芸能解説者)

1951年東京都生まれ。NHKアナウンサーとしての経験を生かし、歌舞伎など古典芸能の解説や講演、また伝統文化についてのセミナーを展開している。

シネマ歌舞伎『女殺油地獄』(103分)

原作: 近松門左衛門 監修: 片岡仁左衛門(舞台公演)

出演: 松本幸四郎 市川猿之助 市川中車 市川高麗蔵 中村歌昇 中村壱太郎 大谷廣太郎 片岡松之助 嵐橋三郎 澤村宗之助 坂東竹三郎 中村鴈治郎 中村又五郎 中村歌六

監督: 井上昌典(松竹撮影所) 撮影公演: 2018(平成30)年7月大阪松竹座公演 製作・配給: 松竹